

むらびと 芸術館

肥後狂句(阿蘇御神火会)

たまたがった 庭の隅 風流さ 駄目ねエ 頭痛の種 春の息吹き 春の息吹き 真っ白 年は取っても 真っ白 真っ白 風流さ 春の息吹き 駄目ねエ 風流さ 真っ白	鏡の顔は私たい 五葉の松の太りすぎ 泥大島に雪駄履き 同じ失敗くり返し よぼよぼばかりなる句会 田のあぜくろで摘む蓬 黄金膨らむ福寿草 歯医者泣かせが自慢です 衣裳ではれるフラダンス 入歯でぐつと若返り 南方の客大はしやぎ 平家落人舞う神楽 土手のよもぎで作る餅 また大臣が替わらした 降りしぐ雪に一人酒 春の訪れまだ遠し	後藤 愛子 松山キヨ子 桐原 白酔 佐藤多可雄 大塚はたる 市原 正成 倉石 晴代 久保 静子
長すぎる 丹念に 脅かすな そらア大事ッ うってつけ 世話なし 駄目ねエ 頭痛の種 そらア大事ッ 行き詰まり 世話なし 行き詰まり そらア大事ッ こっそりと うってつけ そらア大事ッ	原発の被害が怖い 復興祈る千羽鶴 媽アは旅行中のはず あの欲張りが奮ったな 割れ鍋の蓋探しよる 良う診てくるる掛かり付け 云う事ちゃんと言いなっせ 跡目が居らん子も居らん 合併ちゆうて乗つたられ 党名かえて出直そう 全て使うて逝った父 東尋坊か中岳か どこにやったか当りくじ 高価な指輪買うとらす タンスの肥やし生き返る 保育園にも入られん	後藤 愛子 松山キヨ子 桐原 白酔 佐藤多可雄 大塚はたる 市原 正成 倉石 晴代 久保 静子

四月俳句(火の国俳句会)

風光る向学の子の手をふりて 鐘の音の御堂に充ちて入彼岸 祖母の忌や墓参の道の草青む 踏青の影しみじみと老いにけり 廃校と決まりし庭に草青む 紅をさす如き老木梅一輪	一羽二羽つかず離れず鳥雲に 大空にナビあるごとし鳥帰る 帰る鴨らし寄り添ふて波の上 天神の大杉越えて鳥雲に 閉校を見届けて今鳥帰る 夕焼に影を残して鳥帰る	後藤すみれ 菅田みほ子 菊池 蘇水 藤本じゅん子 藤本 一心 松嶋よう子
仕切り無き避難所すてに蚊の季節 葉桜や地震に地割れの田を嘆く 万緑や震災支援の長車列 ポランティア一寸一服花茨 夕焼や遠く村里染め上ぐる 烈震の阿蘇の大地に梅雨迫る	五月兼題(青葉) 青葉風線路は赤く錆びにけり 家ぢゅうの窓開け放ち青葉風 震災に崩れし屋根に青葉雨 避難所の灯を映しをり青葉かな 山越えて来るポランティア青葉風 余震続く阿蘇麓にも青葉風	後藤すみれ 菅田みほ子 松嶋よう子 菊池 蘇水 藤本じゅん子 藤本 一心

震災短歌十首

藤本 征男(一心)

がんばろう!
「阿蘇は心のふるさと」
緑なす我が美しき大阿蘇の
五岳に深き地震の爪痕
地震の夜明くるを待ちて入院の
母を案じてひた走りけり
被災せし母入院の病院は
人影もなく静まり返る
手紙添へ子の送り来し非常食
妻と交互に出しては入れて
遠来の医療支援の運転手
引き受け村の避難所めぐる
駆けつけて天変地異に立ち向かふ
人の情けに涙噛み締む
大地震に崩れし崖にまたたびの
葉は白白と黙して揺るる
純白の馬酔木の花は雨に咲き
崩れし家の庭にけぶれる
膝ついて被災者見舞ふ両陛下の
お言葉やさし勇気いただく
傷深き阿蘇の山々これからの
梅雨の季節をいかに暮らさん

● 皆さんの作品を掲載します ●

「広報 南阿蘇」では、団体加盟の作品の他、村民の皆さんの作品をお待ちしています。俳句や短歌、イラストなど、どしどしお寄せください!
 〈提出日〉毎月15日締め切り 〈宛先〉〒869-1411 南阿蘇村大字河陰145-3 南阿蘇村役場 企画観光課企画係
 〈Eメールアドレス〉info@vill.minamiaso.lg.jp 〈お問い合わせ〉役場 企画観光課企画係 TEL (67) 2230
 ※作品を提出される際は、必ず「お名前」「連絡先」をご記入ください。